

キーワード： 指導体制の改善、基礎・基本の定着

学力向上に向けた取組

函館市立えさん小学校

1 課題

- 国語、算数における基礎的・基本的内容の確実な習得
- コミュニケーション能力、表現力の向上を目指した教育活動の充実

2 課題解決の具体策

- ① 算数科授業における複数教員による指導の拡大や繰り返し指導の充実
- ② 家庭学習の奨励や長期休業中の学習会(補充学習)の実施
- ③ 読書活動の充実や体験的な学習の積極的な導入
- ④ 各教育活動における発表・交流場面の意図的・計画的な位置付け

3 取組の概要

①について

- ・ 算数授業のTTを今年度から3～6年生に拡大するとともに、算数の各単元で「練習①→練習②→ミニテスト」という3段階の繰り返し学習や放課後の個別指導を行い、児童の学習意欲や計算に対する自信の向上に成果をあげている。

②について

- ・ 「家庭学習の手引き」を配付して保護者に対し学習習慣の定着について理解と協力を求めるとともに、家庭学習の内容についても多様な学習メニュー例を紹介して、児童の主体的な学習を促すよう啓発を図った。
- ・ 夏休みに3日間、冬休みに2日間の学習会を設定し、復習を中心に指導を行っている。希望参加であるが、ほとんどの児童が参加し意欲的に学習していた。

③について

- ・ 朝読書や学校図書館のデータベース化、読書ボランティアによる読み聞かせなどの実施により、読書に親しみ、図書館から本を借りる児童が増えてきた。
- ・ スクールバスを活用し、地域探検や海洋体験学習、函館市中央部での体験学習などを積極的に実施した。また、今年度はアウトリーチ事業によるフラダンス、和太鼓、落語の体験教室や知恵の予算による芸術鑑賞会など、児童の興味や関心を広げる体験を実施することができ、児童の鑑賞態度や集団としての規律の育成に効果があった。

④について

- ・ 授業において、自分の考えを話したり友達の考えを聞いたりすることの大切さを児童に意識させるとともに、全校朝会などの全体の場面で考えや感じたこと作文などを発表する場面を位置付け「話す、聞く」態度の育成を図っている。
- ・ 自分の考えをまとめたり表現したりする経験を増やすため、各種作文やポスターコンクール等への参加を呼び掛け、数多くの入賞者が出ている。

4 成果と課題

- 上記の取組により、児童の学習に対する関心・意欲を高めるとともに、自他のよさやがんばりを認め合う学習集団となりつつある。
- 「分かって楽しい授業」を目指し、教師の実践的指導力の一層の向上に努める。